

10月の園だより



草むらや花壇の茂みから♪コロコロコロ、リンリンリン♪とかわいい虫の音が聞こえてきます。秋が身近に感じられるこの頃です。

運動会では、新型コロナウイルス感染予防対策に、いろいろとご協力を頂き本当にありがとうございました。みんなの心が一つになって盛り上がった運動会の得難い経験は、自信や勇気となりこれからの活動につながっていくと思います。友だちと力を合わせたり、考えを出し合ったりして遊びを広げていくような姿がさらに多くなることでしょう。

さらにさわやかな季節を迎え、秋に自然の中で子どもたちの探索活動はますます盛んになってきます。「不思議だなあ」「なんでだろう」「見つけてみたい」「知りたい」といった気持ちを大事に受け止め、探求心をさらに深めるとともに、友達への思いやりの心が育つようかかわっていきます。

これからも、新型コロナウイルス感染予防に十分気を配り、気温の変化で体調も崩しやすい時期でもありますので、子どもたちの健康に配慮して生活していきたいと思います。どうぞよろしくご協力お願いいたします。

ねらい



<満3歳児>

- ・ 秋の自然物やいろいろな素材に触れ、自分なりに表現して楽しむ。

<3歳児>

- ・ いろいろな遊びや行事を通して、身体で表現する喜びを知る。
- ・ 遊びを通して、秋の自然に親しむ

<4歳児>

- ・ 秋の虫、草花などに興味・関心を持ち、友だちとかかわりをもちながら遊ぶ。
- ・ 身近に使っている遊具や用具に対して、やさしい気持ちをもって接し、大切に扱う。

<5歳児>

- ・ お互いの役割を理解し、協力しながら、自信を持って発表する。
- ・ 秋の自然に親しみ、作物の実りや収穫の喜びを味わう





子どもたちが普段から親しみを持って楽しんでいる手遊び。手遊びは、日常では行わない手先、体の動きを体感することができるので、身体機能を高めることができます。色々な物の名前が含まれる手遊び歌に繰り返し触れることは、言葉や「もの」について興味・関心を持つことにも繋がります。

しかし、手遊びの効果はそれだけではありません。手遊びはコミュニケーション能力の向上や心の発達にも役立ちます。呼吸やリズムを共有し、スキンシップを取ったり、歌詞や動きの面白い部分で一緒に笑ったりすることによって、「自分の気持ちを伝えたい」という欲求が生まれ、自然とコミュニケーションに繋がっていくのです。また、手遊びによってスキンシップを取ると、「愛情ホルモン」が分泌され、情緒が安定するので子どもは安心することができます。

「トントントントン アンパンマン〜♪」と歌うと、自然と手を動かし始める子ども達。一度覚えた手遊びを再びすると、子どもは「聞いたことある！」と思い出して何度も何度も繰り返し遊びます。手遊びは何の道具もいりません。親子で触れ合いながら家庭でもぜひ楽しんでみてください！



10月1日(木)より、令和3年度の入園願書の受付が始まります。ご近所やお知り合いの方にぜひ声をかけていただき、若松幼稚園の幼児教育の良さをお伝え下さいますようお願いいたします。

満1歳児からでも申込みができますが、市の認定が必要になりますので、事務室までお問い合わせください。



たいそうだより～10月号～

ひと雨ごとに秋も深まって参りましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。
運動会も無事終了し、子ども達の成長した姿を見ていただけたかと思えます。
今後も指導を通じて、子ども達のさらなる成長を促せるような関わりをさせていただきます。

幼児活動研究会 倶 コスモスポーツクラブ

堀川 瑞樹 (ほりかわ みずき)

今後の活動

みかんちゃんルーム

かけっこ

たんぼぼ組

かけっこの中に様々な動き（跳び箱の上からジャンプ・鉄棒を使用してのぶら下がり等）

もも組

マット種目（横転・でんぐり返し）、鉄棒種目（ぶら下がり・ぶたのまるやき）

うめ組

マット種目（前転）・鉄棒種目（つばめ・前回り降り）

まつ組

縄跳び種目(各種種目)・鉄棒(逆上がり)

堀川先生のお話

運動会を終え、子ども達にとっても大きな経験、思い出になったかと思えます。

こうした普段の幼稚園生活にはない刺激（ドキドキやワクワク）は自分の成長した姿、やりきった姿を認めてもらう、そして大きな達成感を得る良い機会かと思えます。

そのため、今回は『褒める大切さ』についてお話させていただきたいと思えます。

人間には承認欲求というものがあるそうです。承認欲求とは「他人から褒められたい、認められたい」との欲求で、これが満たされることによって自分自身をより成長させようという自己実現欲求に従って行動できるようになります。

また、褒めることは最強のコミュニケーションツールとの紹介もあるそうで、人を褒めることは「あなたのことをちゃんと気にかけてますよ、あなたに対して好意を持っていますよ」と伝える事でもあるそうです。

私も体育指導を行う上で、小さな変化に気づき褒めることを大切にしています。

縄跳びの回数や1つの種目ができるようになることもとても素晴らしいことですが、縄を大きく回せるようになった、縄に引っ掛からないようジャンプを大きくしているなど、頑張ろうとしている姿を探し、褒めます。

皆様もこれを機に小さな変化にも気を配り、沢山褒めてみてはいかがでしょうか。

褒められる嬉しさがまた頑張ろうという活力になります。今後とも宜しくお願い致します。